

# 第 1 回

## ひと☆まち 児童館フォーラム in 仙台 ～子どもの育つ遊びの力・遊びの魅力～

と き 平成 29 年 2 月 26 日(日)13:00～17:00

と ころ 仙台市戦災復興記念館

主 催 公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

協 力 一般財団法人 児童健全育成推進財団

### 1 開催趣旨

少子化がますます進む一方で、放課後児童クラブの登録数が増加しています。また、地域毎に若干の違いはあるものの高齢化が進む中であって、それぞれの地域の子どもの育つ環境は短い期間でどんどん変化しています。このような時代の流れの中で、児童館の目的や基本機能が忘れられがちになることもあります。だからこそ、児童館職員が中心となって今後の児童を取り巻く地域環境を展望しつつ、地域の関係者や学校関係者と共に児童館の基本に立ちかえることが必要です。児童館職員をはじめ、関係者が児童館の目的や基本的な機能を理解したうえで、今後の健全育成を検討することを目的に、児童館職員による主体的な自己研鑽の機会に発展することを期待しつつ開催いたします。

### 2 後 援

仙台市, 仙台市教育委員会, 仙台市 PTA 協議会, 仙台市私立幼稚園連合会, 河北新報社  
朝日新聞仙台総局, 読売新聞東北総局, 毎日新聞仙台支局, 産経新聞社東北総局  
共同通信社仙台支社, 時事通信社仙台支社, NHK 仙台放送局, TBC 東北放送, 仙台放送  
ミヤギテレビ, KHB 東日本放送

### 3 参加申込み数(所属内訳)

財団児童館 179名, 市内他団体児童館 23名, 市外児童館等 8名  
子育て支援クラブ 2名, 放課後子ども教室 2名, マイスクール 1名  
放課後等デイサービス 1名, 民生委員児童委員 3名, 子ども会育成会 1名  
小学校教員 2名, 行政職員 2名, 市民センター 1名, 大学生 5名, 一般 2名 **計 232名**

## ■ 全体会・特別講演 13:00～14:30

会場:5階 会議室

### 1 開 会

2 あいさつ (公財)仙台ひと・まち交流財団 理事長 山内 晃

### 3 講師紹介

### 4 特別講演

「子どもの育つ遊びの力・遊びの魅力」

一般財団法人 児童健全育成推進財団 事務局長 依田 秀任 氏

子ども達の成長には遊びと学習が不可欠です。学習による知恵の獲得と遊びによる知恵の獲得は車の両輪にもたとえられる関係にありますが、ともすると大人は学習を優先して考える傾向にあります。また、大人は遊びを息抜きに過ぎないと考えがちです。子どもと遊びについて、人を育てる遊びの魅力についての大人の理解を促します。



## ■ 分科会 14:45～16:00

### ◆ 第1分科会 「遊びで変わる・遊びで育つ」

会場:4階 第1会議室

<講 師>

東京都八王子市立中野児童館 児童館長 井垣 利朗 氏

(児童健全育成推進財団認定 児童健全育成指導士)

<メンバー>

木町通児童館

児童厚生員 齊藤 寿一郎

(児童健全育成推進財団認定 児童厚生一級特別指導員)

☆願 い☆ 子ども達には「自分らしく成長し、大人になって幸せに暮らしたい。」という願いがあります。

★内 容★ 遊びから得られる知恵があること、遊びで何かが変わることを体験するワークショップです。体験を通して、遊びと児童健全育成の関係についての気づきを促します。



## ◆ 第2分科会 「要支援児と遊び」

会場:4階 第2会議室

<ゲスト>

宮城学院女子大学

教授 足立 智昭 氏(臨床発達心理士)

<ゲスト>

仙台市障害者総合支援センター

主幹 只 埜 弓 美 氏(保健師)

<ホスト>

(公財)仙台ひと・まち交流財団子ども育成課 課長 後 藤 敬 二

☆願 い☆ 障害のある子もない子も「普通にみんなと同じ事をした  
い。」という願いがあります。

★内 容★ インクルージョンの理念に沿った支援をどのような仕組み  
の中で考えればよいのかについて、また、現在実施してい  
るスーパーバイザー巡回や ICF シートを用いた定例レビュ  
ーの今後の展開について検討します。



## ◆ 第3分科会 「中学生とのかかわり・児童館のできること」

会場:4階 第4会議室

<ゲスト>

仙台市立八軒中学校

校長 石 川 一 博 氏

<ホスト>

大沢児童館・市民センター

館長 佐 藤 正 道

<メンバー>

川平マイスクール児童館

主任 今 野 明 美

(児童健全育成推進財団認定 児童厚生一級特別指導員)

☆願 い☆ 中学生にも「地域社会に参加して一人前と認められたい。」  
という願いがあります。

★内 容★ 中学生は地域社会に参加できているのだろうか？地域は  
中学生を地域の一員として受け入れているだろうか？現  
状を探りながら、中学生と地域との関係のあり方について  
検討し、中学生と地域の関係づくりについて、児童館がで  
きることを検討します。



## ◆ 第4分科会 「児童館の遊び・児童クラブの遊び」

会場: 4階 研修室

<アドバイザー>

一般財団法人 児童健全育成推進財団 事務局長 依田 秀任 氏

<メンバー>

虹の丘児童センター	主任	渡邊 由貴 (児童健全育成推進財団認定 児童厚生一級特別指導員)
中野栄児童館	主任	菅原 広美 (児童健全育成推進財団認定 児童厚生一級指導員)
館児童センター	児童厚生員	狩野 裕子 (児童健全育成推進財団認定 児童厚生二級指導員)

☆願 い☆ 自由来館児童には「児童館で思いっきり遊びたい。」という願いがあります。

児童クラブの児童は、この願いに加えて「児童館で安心して過ごしたい。」という願いがあります。

★内 容★ 自由来館児童と放課後児童クラブ児童では、児童館に対する期待や願いが異なります。この違いを児童館運営にどう反映すべきかについて、「遊び」を切り口に、児童館職員が特別講演をいただき依田氏にアドバイスをいただきながら考えます。



## ■ 全体会・分科会報告 16:15~17:00

会場: 5階 会議室

### 1 開 会

### 2 分科会報告

第1分科会 木町通児童館 児童厚生員 齊藤寿一郎  
第2分科会 (公財)仙台ひと・まち交流財団子ども育成課 課長 後藤敬二  
第3分科会 大沢児童館・市民センター 館長 佐藤正道  
第4分科会 虹の丘児童センター 主任 渡邊由貴

3 参加者感想 東京都中野区北原児童館館長 千葉雅人 氏  
(全国児童厚生員研究協議会会長)

4 総 評 (一財)児童健全育成推進財団事務局長 依田秀任 氏

### 5 閉 会

